

---

# 赤い糸、つなぎます

畑 篤志

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

赤い糸、つながります

### 【Nコード】

N4477C

### 【作者名】

畑 篤志

### 【あらすじ】

20XX年、科学の進歩はついに人間の「相性」も研究し尽くした。運命の赤い糸と信じられたことも、実は操作可能なのか？良太の運命の人とは？

「お兄さん、これは確実ですぜ」

そんな言葉だったのか、ともかく、街頭で小さなカードを受け取る  
と良太は、誰かが見てなかったか、と辺りを見回した。家に帰り着  
くとすぐにネットにつないだ。クレジットで支払い、まわりくどい  
セキュリティをぐりぬけ、やつとお目当てのサイトだ。

「あなたの赤い系の先には誰が？ さあ、探しましょう、つ  
なぎましょう」

科学の進歩ってやつは、本当にすごい。前世紀の終わりに  
にクローン羊が現れ、「人間でもできたらおもしろいね」、なんて  
言ってたら、すぐに世界中で怪しげな人間クローンの計画が始まっ  
た。20XX年になって、猫の相性の実験が報告されたら、「人間  
でもできるよね」なんて冗談が冗談じゃなくなりそうだ……

息をひそめて見つめると、画面に人々の相関図のようなものが現  
れた。その真ん中にいるのは、良太だった。良太から、細いのや  
ら太いのやら赤い系が伸びて、周りの女性たちにつながっている。

「うっ、この子は…… 残念、好みじゃないぜ」

一番太い赤い系の先には、ちよつとぼつちやりした下ぶくれの顔が  
映っていた。良太は顔をしかめ、「消去しますか？」と点滅する  
ボタンを押すと、画面がさーっと替わり、金額表が現れた。「完  
全」から「できる限り接触を避ける」まである。「完全」を選ぶ  
と、べらぼうな金を払うことになる。良太は携帯を取り上げた。

「御用でしょうか？」

機械的な声がある。

「今、見てんだけど…… ホントにこれが俺の赤い系？ 放ってお  
いたらどうなるんだ？」

「何もなさらないと、もつとも太い糸の方と結ばれます」

機械はていねいに良太の様々な質問に対応した。

「……わかったよ。 ありがとうな」

「いえ、お役に立てて幸いです」

良太は携帯を切ると、画面を見つめた。 良太の好みの彼女とは、一番細い糸で結ばれている。 その子と結ばれるためには、他の太い糸を全部切って、その子の糸をとことん太くしなければいけない。 見積もりによると、良太が銀行強盗でもしないとできない金額だった。

良太は、部屋の窓から暮れ行く夕日を眺めた。 さわやかな夕暮れの風が、良太を少し落ち着かせた。 良太は携帯をもてあそびながらつぶやいた。

下ぶくれか……。それが俺の運命ってものならば

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4477c/>

---

赤い糸、つなぎます

2011年1月16日06時06分発行